

# 韓国、男子

## その困難さの感情史

チェ・テソプ 著 小山内園子/すんみ訳 趙慶喜 解説

ISBN 978-4-622-09745-7 四六変型 312頁 定価3,300円(本体:3,000円)

「男子（ナムジャ）」の苦難や煩悶が、非 - 男性への抑圧と表裏をなしながら、いかにして社会を構成する人々全体の生きづらさに与ってきたか。朝鮮王朝時代、植民地化、南北分断と軍政、民主化、新自由主義化といった局面に応じて、男性性をめぐる新たな困難と憤懣が再生産されてきた近現代史を振り返る。終盤では、兵役が生む軋轢や、オンラインで拡散する苛烈なミソジニーとバックラッシュに揺れる 2000 年以降の韓国社会の様相を見る。

韓国ドラマの男性主人公は、なぜいつも「おんな子どもを守る男」？

男性アイドルの兵役が、なぜ社会を揺るがすほどの問題に？

フェミニズムの運動が活発な国で、なぜ凄絶なデジタル性犯罪が止まらない？

近いようで実は知らない韓国  
「なぜ」の背景にある「韓国男子」の感情史を、  
近現代史上の事象や流行語を手がかりに辿る。

家父長制、植民地化、  
南北分断、軍政、兵役

民主化、経済危機、  
新自由化

男らしさ、ミソジニー、  
バックラッシュ…

「男性性の形成という切り口から見た韓国近現代史であり、またフェミニズムの時代精神を反映した誠実なジェンダー社会文化論である。……まさに、時代状況と当事者性が結びついて生まれた稀な成果」

——趙慶喜、韓国・聖公会大学東アジア研究所教員による本書解説より

「自己省察を深める」という意味での異文化接触の意義を限りなく感じさせてくれる一冊……韓国の男性性の現代史という意義に留まるのみならず、人類が経験した近代化の帰結としての、男性問題の普遍的な側面を読者に強く印象づける」

——佐々木正徳、立教大学教授（韓国社会論）

★日本経済新聞(12/14)、読売新聞(12/15)、週刊読書人(12/20号)、  
東京新聞・毎日新聞(1/25)、中日新聞(1/26)、共同通信(2/1)にて書評掲載！



### 著者紹介

チェ・テソプ (최태섭)

1984 年生まれ。文化評論家、社会学研究者。韓国・聖公会大学社会学科にて博士課程修了。ジェンダー、政治、労働問題に重点を置いて執筆活動をしている。単著『잉여사회 [余剰社会]』（ウンジン知識ハウス、2013 年）、『한국, 남자 [韓国、男子]』（ウネナム、2018 年）、『모두를 위한 게임 취급 설명서—게임에 대해 궁금하지만 게이머들은 답해줄 수 없는 것들 [みんなのためのゲーム取扱説明書——ゲームについて疑問に思うが、ゲーマーは答えることができないもの]』（ハンギョレ出版、2021 年）など。邦訳は本書が初。

ご注文書	<b>韓国、男子</b> その困難さの感情史 2024年12月刊	取扱店  FAX.03-3818-6435  <b>みすず書房</b> 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-20-7 Tel. 03-3814-0131 <a href="https://www.mszy.co.jp/">https://www.mszy.co.jp/</a>
	本体 3,000円 四六変/312頁 ISBN978-4-622-09745-7	
	お名前	
	ご住所	
お電話番号	2024年12月刊	

【書店様、外商部様へ】 ちらしの追加をご入り用の際は、小社営業部までご遠慮なくお申し付けください。